

(3) 担当部署

計画の 担当部署	名 称	東京ガーデンパレス 管理部 設備課
	電 話 番 号 等	03-3813-6267
公表の 担当部署	名 称	東京ガーデンパレス 営業部 販売企画課
	電 話 番 号 等	03-3813-6230

(4) 地球温暖化対策計画書の公表方法

公表方法	ホームページで公表	アドレス： http://www.hotelgp-tokyo.com/info/info01.html
	窓 口 で 閲 覧	閲覧場所：
		所在地：
		閲覧可能時間
	冊 子	冊子名：
入手方法：		
そ の 他	アドレス：	

(5) 指定年度等

指定地球温暖化対策事業所	2009	年度	事業所の使用開始年月日	1980	年	1	月	1	日
特定地球温暖化対策事業所	2009	年度							

2 地球温暖化の対策の推進に関する基本方針

◎ 東京ガーデンパレスは、事業団としての社会的責任を果たすため、環境問題への全職員の、継続的な取り組みを行って、限りある資源を枯渇から守るため、エネルギーの有効活用を進める活動を行っていきます。

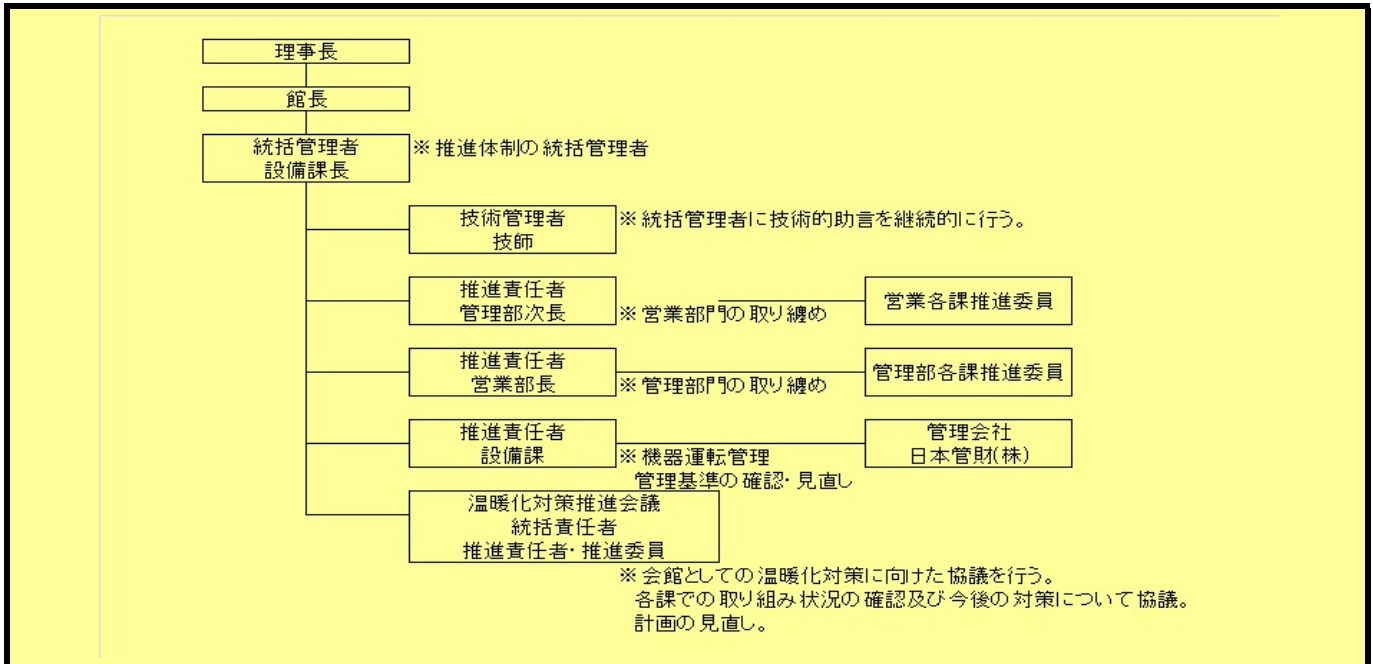
■ 活動の基本方針

(1) 環境関連の法令を遵守します。

(2) 目標設定・実行・達成度の評価、そして新たなる目標設定と継続的な活動をお行っています。

(3) お客様の快適性・安全性・利便性を最優先すると共に環境への配慮を最大限努めています。

3 地球温暖化の対策の推進体制



4 温室効果ガス排出量の削減目標（自動車に係るものを除く。）

(1) 現在の削減計画期間の削減目標

計画期間	2015 年度から 2019 年度まで				
削減目標	特定温室効果ガス	現状にて、17%の削減は完了しているが、更なる削減を実現すべく設備更新に際しては省エネ効果を考慮し、運用面での省エネにおいては、社内教育の徹底により職員の意識付けによる省エネに努めるものとする。			
	特定温室効果ガス以外の温室効果ガス	当施設から排出される特定温室効果ガス以外の温室効果ガスは水道の使用および下水道への排水に伴う二酸化炭素の排出が主なものとなっているが、給水に関しては地下水を主とするFELシステム及びコージェネレーションシステム導入により、節水並びに特定温室効果ガスの削減に努めている。また、節水をきめ細かく行うことにより、本温室効果ガスを削減していくこととする。			
削減義務の概要	基準排出量	4,627	t（二酸化炭素換算）/年	削減義務率の区分	I-1
	排出上限量（削減義務期間合計）	19,205	t（二酸化炭素換算）	平均削減義務率	16.99%

(2) 次の削減計画期間以降の削減目標

計画期間	2020 年度から 2024 年度まで				
削減目標	特定温室効果ガス	高効率設備の積極的な導入等により、より一層の省エネを目指す。			
	特定温室効果ガス以外の温室効果ガス	当館におけるその他ガスの使用は主に水道となるが、FELシステムの積極的な利用及び節水努力を引き続き続行する。			

5 温室効果ガス排出量（自動車に係るものを除く。）

(1) 温室効果ガス排出量の推移

単位：t（二酸化炭素換算）

		2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
特定温室効果ガス（エネルギー起源CO ₂ ）		3,099	3,060	3,023		
その他ガス	非エネルギー起源二酸化炭素（CO ₂ ）					
	メタン（CH ₄ ）					
	一酸化二窒素（N ₂ O）					
	ハイドロフルオロカーボン（HFC）					
	パーフルオロカーボン（PFC）					
	六ふっ化いおう（SF ₆ ）					
	三ふっ化窒素（NF ₃ ）					
上水・下水		31	28	34		
合計		3,130	3,088	3,057		

(2) 建物の延べ面積当たりの特定温室効果ガス年度排出量の状況

単位：kg（二酸化炭素換算）/㎡・年

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
延べ面積当たり特定温室効果ガス年度排出量	119.4	117.9	116.4		

6 総量削減義務に係る状況（特定地球温暖化対策事業所に該当する場合のみ記載）

(1) 基準排出量の算定方法

<input checked="" type="radio"/> 過去の実績排出量の平均値	基準年度：（ ）
<input type="radio"/> 排出標準原単位を用いる方法	
<input type="radio"/> その他	算定方法：（ ）

(2) 基準排出量の変更

	前削減計画期間	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
変更年度						

(3) 削減義務率の区分

削減義務率の区分	I - 1
----------	-------

(4) 削減義務期間

2015 年度から 2019 年度まで

(5) 優良特定地球温暖化対策事業所の認定

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
特に優れた事業所への認定					
極めて優れた事業所への認定					

(6) 年度ごとの状況

単位：t（二酸化炭素換算）

		2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	削減義務期間合計
決定及び予定の量	基準排出量 (A)	4,627	4,627	4,627	4,627	4,627	23,135
	削減義務率 (B)	17.00%	17.00%	17.00%	17.00%	17.00%	
	排出上限量 (C = Σ A - D)						19,205
	削減義務量 (D = Σ (A × B))						3,930
実績	特定温室効果ガス排出量 (E)	3,099	3,060	3,023			9,182
	排出削減量 (F = A - E)	1,528	1,567	1,604			4,699

(7) 前年度と比較したときの特定温室効果ガスの排出量に係る増減要因の分析

7 増減要因	<input checked="" type="checkbox"/> 削減対策	<input type="checkbox"/> 床面積の増減	<input type="checkbox"/> 用途変更
	<input type="checkbox"/> 設備の増減	<input type="checkbox"/> その他	
具体的な増減要因	年金一元化により設備の増設稼働時間延長等が発生したものの、運転管理、職員の省エネ努力により前年度以上の削減が実現された。		

7 温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況（自動車に係るものを除く。）

対策 No	対策の区分		対策の名称	実施時期	備考
	区分 番号	区分名称			
		【特定温室効果ガス排出量の削減の計画及び実施の状況】			
1	150100	15_受変電設備の管理	高効率変圧器の導入	2009年度実施済	
2	150100	15_受変電設備の管理	LED照明の導入	2009年度実施済	
3	150200	15_照明設備の運用管理	Hf照明の導入	2008年度実施済	
4	150200	15_照明設備の運用管理	INV安定器の導入	2009年度実施済	
5	130100	13_空気調和の管理	高効率空調機へのリプレース	2009年度実施済	
6	120200	12_冷凍機の効率管理	高効率水冷チラーへのリプレース	2010年度実施済	
7	120100	12_燃焼設備の管理	高効率ボイラーへのリプレース	2011年度実施済	
8	130100	13_空気調和の管理	高効率空調機へのリプレース	2011年度実施済	
9	150200	15_照明設備の運用管理	LED照明の導入	2012年度実施済	
10	160100	16_昇降機の運転管理	昇降機の更新	2013年度実施済	
11	160100	16_昇降機の運転管理	昇降機の間欠運転	2011年度より実施	
12	310300	31_計測及び記録の管理	BEMSの導入による運転管理	2008年度実施済	
13	170200	17_コージェネレーション	コージェネレーション設備の導入	2008年度実施済	
14	130100	13_空気調和の管理	高効率空調機へのリプレース	2017年実施	
15	130100	13_空気調和の管理	高効率空調機へのリプレース	2018年実施	

7 温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況（自動車に係るものを除く。）

対策 No	対策の区分		対策の名称	実施時期	備考
	区分 番号	区分名称			
16	150100	15_受変電設備の管理	階段非常灯の高効率機器へのリプレース	2018年実施	
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
		【その他ガス排出量の削減の計画及び実施の状況（その他ガス削減量を特定温室効果ガスの削減義務に充当する場合のみ記載）】			
51					
52					
53					
		【排出量取引の計画及び実施の状況】			
61					
62					
63					